

令和2年お茶づくり技術情報 (No.8)

2020年(令和2年)5月15日

佐賀県茶業技術協会

佐賀県茶業試験場

1. 一番茶作況

1) 萌芽後の生育経過

表1 一番茶萌芽期(茶業試験場内作況調査園)

| 本年 | 前年 | 前2か年平均 |
|-------|-------|--------|
| 3月27日 | 3月28日 | 3月29日 |

注) 品種: やぶきた 樹齢: 19年生

表2 作況調査園の芽長および開葉数(茶業試験場内作況調査園)

| 調査日 | 4月5日 | 4月10日 | 4月15日 | 4月20日 | 4月25日 | 4月30日 | |
|------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 芽長 (cm) | 本年 | 1.3 ± 0.4 | 2.1 ± 0.6 | 3.4 ± 0.7 | 5.6 ± 1.0 | 7.7 ± 1.1 | 10.7 ± 1.3 |
| | 前年 | 1.3 ± 0.3 | 2.8 ± 0.6 | 4.6 ± 0.8 | 7.7 ± 1.0 | 10.6 ± 1.4 | - |
| | 前2か年平均 | 1.8 ± 0.5 | 3.5 ± 0.8 | 6.1 ± 1.0 | 9.1 ± 1.3 | 12.1 ± 1.7 | - |
| 葉数 (枚) | 本年 | 0.3 ± 0.3 | 1.1 ± 0.4 | 1.7 ± 0.4 | 2.5 ± 0.3 | 3.2 ± 0.4 | 4.2 ± 0.3 |
| | 前年 | 0.5 ± 0.3 | 1.4 ± 0.4 | 2.4 ± 0.4 | 3.4 ± 0.4 | 4.4 ± 0.4 | - |
| | 前2か年平均 | 0.7 ± 0.3 | 1.4 ± 0.4 | 2.5 ± 0.5 | 3.4 ± 0.4 | 4.4 ± 0.4 | - |

- (1) 茶業試験場内の作況調査園(品種: やぶきた、樹齢19年生)において、2020年3月27日に一番茶の萌芽を確認した。
本年の萌芽日は、前年(3月28日)より1日、前2か年平均(3月29日)より2日早い(表1)。
- (2) 萌芽後の生育は、4月の平均気温が前5か年平均より低く、また、4月上旬の降雨がほとんどなかったことから、新芽の初期生育は前年よりやや遅れた。その後も低温が続いたことで生育が遅れ、芽の伸長および葉の開葉は前年より5日間程度遅れて推移した。
- (3) 萌芽から摘採までの所要日数は、34日間で前2か年平均の28日間より6日長かった。

2) 一番茶収量

表3 摘採日（茶業試験場内作況調査園）

| 本 年 | 前 年 | 前2か年平均 |
|-------|-------|--------|
| 4月30日 | 4月25日 | 4月26日 |

表4 一番茶収量と収量構成要素（茶業試験場内作況調査園）

■一番茶収量 (kg/10a)

| 本 年 | | 前 年 | | 前2か年平均 | |
|--------------|-----|--------------|-----|--------------|-----|
| 収 量 | 指 数 | 収 量 | 指 数 | 収 量 | 指 数 |
| 432.8 ± 12.3 | 68 | 576.8 ± 78.6 | 91 | 634.3 ± 52.7 | 100 |

注) 指数は前2か年平均を100とした値(以下同様)

■百芽重 (g)

| 本 年 | | 前 年 | | 前2か年平均 | |
|------------|-----|------------|-----|------------|-----|
| 重 量 | 指 数 | 重 量 | 指 数 | 重 量 | 指 数 |
| 61.9 ± 6.9 | 75 | 81.8 ± 6.8 | 100 | 82.1 ± 5.9 | 100 |

■新芽数 (本/m²)

| 本 年 | | 前 年 | | 前2か年平均 | |
|------------|-----|-----------|-----|------------|-----|
| 芽 数 | 指 数 | 芽 数 | 指 数 | 芽 数 | 指 数 |
| 1292 ± 161 | 102 | 1228 ± 90 | 97 | 1272 ± 128 | 100 |

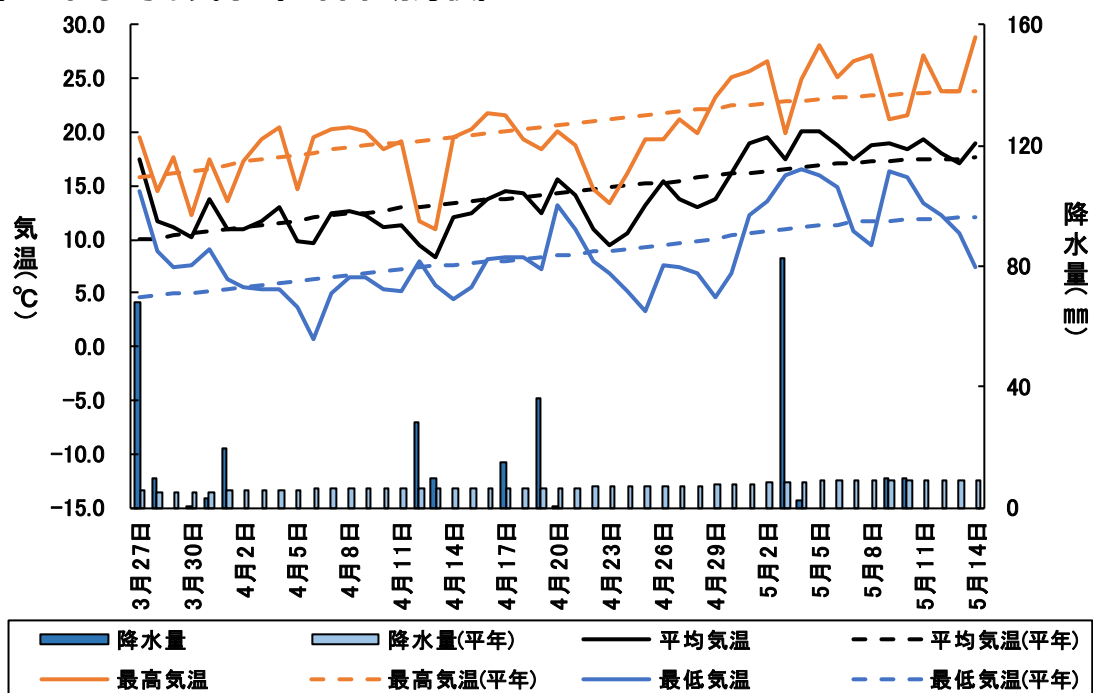
■出開き度 (%)

| 本 年 | 前 年 | 前2か年平均 |
|------------|------------|------------|
| 28.3 ± 1.5 | 32.6 ± 6.9 | 31.5 ± 6.8 |

- (1) 本年の一番茶の摘採日は、4月30日で前年より5日、前2か年平均より4日遅かった。
- (2) 本年の一番茶の収量は、433kg/10a で前2か年平均より約 32%少なかった。
- (3) 新芽数は前2か年平均並み(102%)で、百芽重は前2か年平均より少なかった(75%)。

2. 気象

1) これまでの気象（一番茶萌芽後）



- (1) 一番茶萌芽後の4月上中旬の平均気温はほぼ平年並～低く推移したが、4月末から5月上旬にかけて平年より高い気温が続いた。
- (2) 降水量は、萌芽期の前後(3月26～28日)にまとまった降雨(合計105mm)があったが、4月1日(19.5mm)以降、10日間降雨がなかった。その後、降雨があったものの、4月の降水量は平年比55%と平年の約半分程度と少なかった。

3) 今後の気象の見通し

向こう1か月の天候の見通し

福岡管区気象台

九州北部地方 (5月16日～6月15日)

1か月予報 (令和2年5月14日発表)

1か月の平均気温・降水量・日照時間

| | 平均気温 (1か月) | 降水量 (1か月) | 日照時間 (1か月) |
|-----------------------|--|--|---|
| 九州北部地方 | 低20 並30 高50% 高い見込み | 少20 並40 多40% 平年並が多い見込み | 少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み |
| <p>数値は予想される出現確率です</p> | <p>平均気温 (1か月)</p> <p>低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%)</p> | <p>降水量 (1か月)</p> <p>少ない確率(%) 50 40 40 50 多い確率(%)</p> | <p>日照時間 (1か月)</p> <p>少ない確率(%) 50 40 40 50 多い確率(%)</p> |

- (1) 向こう1か月(5月16日～)の天候は、暖かい空気に覆われるため、平均気温は平年より高い見込み。降水量は、前線や湿った空気の影響により、平年並か多い見込みである。

3. 今後の管理

1) 刈りならし作業

(1) 刈りならしの時期

- ①一番茶摘採10～14日後を基本とする。
- ②一番茶の芽揃いが悪かった園(晩霜害を受けた茶園等)や早摘みした茶園では、遅れ芽の発生が著しいので、刈りならし時期をやや遅らせる(14～20日後)。
- ③2回刈りならしをする場合、2回目が遅すぎると二番茶芽を剪除し、生育のばらつきや減収の原因となるため、作業の遅れに注意する。

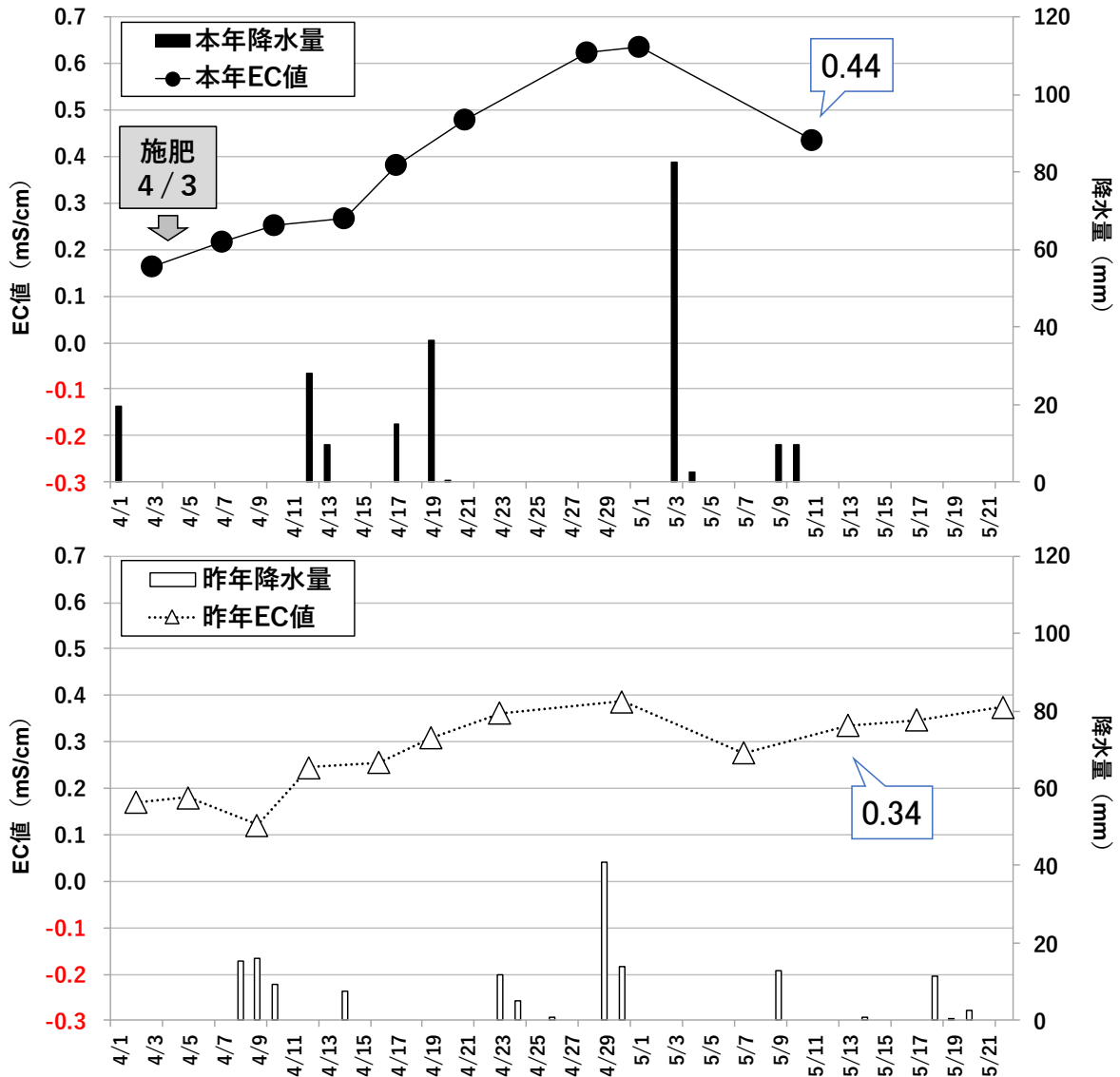
(2) 刈りならしの位置

- ①刈りならしの位置は、基本的に一番茶摘採後に立ち上がった葉や遅れ芽を除く程度で、一番茶を摘採した位置で刈りならすようにする。二番茶芽にはハサミをかけないように十分に注意する。

2) 中切り更新

- (1) 秋までの再生芽の生育期間を十分に確保するため、平坦部では8月5日、山間部では7月20日までに再整枝できるように一番茶摘採後から計画しておく(中切りから再整枝までの期間は70～75日が目安)。
- (2) 近年、夏季の高温・干ばつが頻発しているが、今後の気象予報を参考にしながら強度(深さ)を決定する。また、処理直後に樹上散水(0.5～2t/10a)を行うことで、新芽の再生が促進される。

3) 土壌・肥料



- (1) 本年の試験場内作況調査園の土壌 EC は、追肥後徐々に上昇し、5月1日には EC 値が 0.64 と前年より高く推移した。その後、5月3日の降雨 (82.5mm) によって、EC 値は低下したが、5月11日の EC 値は 0.44 と前年よりやや高く推移している。
- (2) 二番茶芽出し肥 (夏肥 1) は、一番茶摘採 2 週間後までを目安に、一番茶摘採後できるだけ早く施用し、施用後は土壌とよく混和する。

4) 病虫害防除

病虫害防除については、『令和2年度佐賀県施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき』を参照してください。